

平成29年度

全国学力・学習状況調査の
結果について



あいさつの日時計

平成29年12月
海老名市立柏ヶ谷小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は
こちらから



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことは、相当数の児童ができています。

【今年度出題】・申し込み期限
・指示 ・事務室

○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることは、相当数の児童ができています。

【今年度出題】・三度目の正直
・もちもち屋

《努力を要する所》

○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことに課題がある。

【今年度出題】・きぼう者
・参加たいしょう
・箱がおいてある

○互いに話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことに課題がある。

【考察】

◆漢字を正しく書くことに課題があり、確実に習得するための指導の工夫が求められる。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○目的や意図に応じて、適切な言葉遣いで話したり、構成を考えたりすることは、相当数の児童ができています。

○話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉えることは、相当数の児童ができています。

《努力を要する所》

○目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題がある。

○物語を読み、感想を伝え合う中で具体的な叙述を基に理由を明確にして自分の考えをまとめることや、自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題がある。

【考察】

◆自分の考えをまとめたり、必要な内容を整理したりして書くことに課題があり、指導の工夫が求められる。

これまでの取組から

- 漢字の確実な習得のために、漢字の読み書きの機会を多く設定するとともに、家庭学習としても取り組み、習熟度の向上を図ってきました。
- 相手に伝わる話し方や、目的や意図に応じた話し方ができるよう、朝の会のスピーチ等の話す機会を設定し、話す活動の充実を図ってきました。

今後の具体的な取組について

- 漢字の確実な習得をめざすために、習熟度の確認をしながら、習得した漢字の読み書きの機会を多く設定し、計画的に指導していきます。
- 自分の考えをまとめるときには理由を明確にすること、必要な内容を整理して書くときには具体的な事実と自分の意見などを区別することを、重点課題として指導していきます。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 整数の乗法の計算(123×52)や小数と整数の加法の計算($10.3 + 4$)を正しく計算することは、相当数の児童ができています。
- 具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解したり、小数の乗法の計算において、乗法を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解したりすることは、相当数の児童ができています。

《努力を要する所》

- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算($6 + 0.5 \times 2$)をすること、商を分数で表す($5 \div 9$ の商)ことに課題がある。
- 高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解することに課題がある。

【考察】

- ◆全問(15問)正答する児童が少ないことから、基礎的な学力の確実な定着を図る必要がある。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 測定値の平均を正しく求めることや、示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことは、相当数の児童ができています。

《努力を要する所》

- 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述することに課題がある。
- 仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述することに課題がある。

【考察】

- ◆求め方や判断の理由を記述する問題(出題例: ~を言葉や式を使って書きましょう。)の正答率が低いことから、説明する活動の指導の工夫が求められる。

これまでの取組から

- 基礎的・基本的な計算技能については、継続的な指導とともに、家庭学習としても取り組み、低学年の計算は定着してきています。
- 新しい問題に取り組む際、既習学習の内容を手がかりに、自分で考えたり説明したりする学習活動の充実を図ってきました。

今後の具体的な取組について

- 基礎的な学力の確実な定着を図るために、日常的に計算の反復練習を行うとともに、既習学習の振り返りを随時行っていきます。
- 根拠となる考えを基に、言葉や式を使って論理的に考えたり説明したりする活動のさらなる充実を図ります。



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 読書活動の充実
本を読んだり借りたりするために、学校図書館や地域の図書館に行く児童が相当数いる。
- 学習習慣の定着
学校の宿題を毎日する児童や、予習をしている児童が相当数いる。

《課題と思われる所》

- 学習方法の工夫
自分で計画を立てて勉強することに課題がある。
- 言語活動
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることに課題がある。

生活について

《よかった所》

- 規範意識
学校のきまりを守っていると答えた児童が相当数いる。
- 国際交流
外国の人と友達になったり、外国についてもっと知ったりしてみたいと思う児童が相当数いる。

《課題と思われる所》

- 生活習慣
就寝時刻の不規則な児童が増加傾向にある。
- 地域や社会とのかかわり
地域の行事に参加したり、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心をもって過ごしたりすることに課題がある。

これまでの取組から

- 学校図書館支援員による図書室の環境づくりや調べ学習の推進活動により、図書室の利用率と本の貸出率が高くなり、読書活動が充実してきています。
- 家庭学習の手引きを作成し、児童と保護者に示すことにより、家庭学習が毎日の習慣として定着してきています。

今後の具体的な取組について

- 基本的な生活習慣の定着に向け、家庭での時間の使い方について情報発信するとともに、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、学校と家庭が連携しながら指導していきます。
- 話し合い活動の充実に向け、各教科や学級活動での話し合いの機会を増やし、効果的な話し方や聞き方を指導していきます。



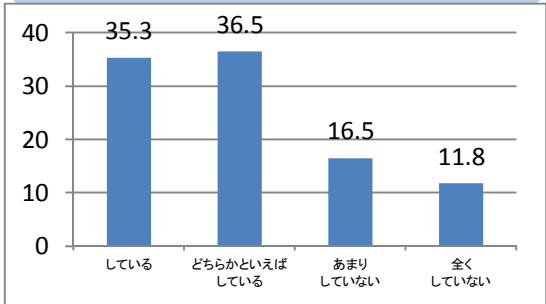
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ始めてみてください。

1 規則正しい生活習慣を身につけましょう。

就寝時刻を決め、十分な睡眠時間と質の高い睡眠を確保しましょう。

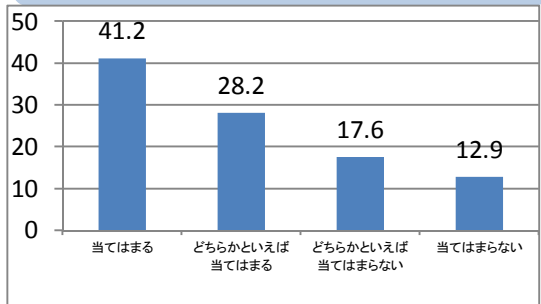
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



2 子どものよさを認めて褒めましょう。

自尊心が高まり、自信をもって行動できるようになります。

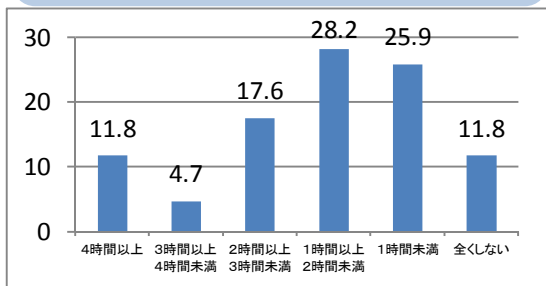
自分には、よいところがあると思いますか。



3 テレビゲームなどの遊びは、時間を決めましょう。

家庭内でよく話し合い、ゲームをする時間や約束を決め、守るようにしましょう。

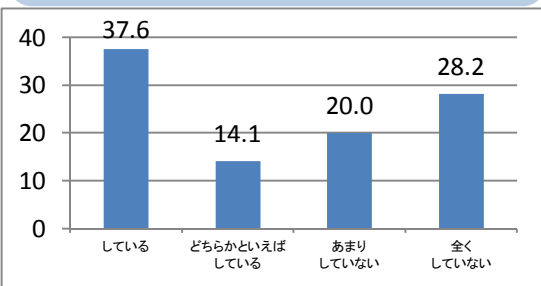
普段、1日当たりどれくらいの時間テレビゲーム(コンピュータ・スマホ等含む)をしますか。



4 テレビやビデオ、DVDなどの視聴は時間を決めましょう。

長時間の視聴は、目の健康を害します。時間を決めて見るようにしましょう。

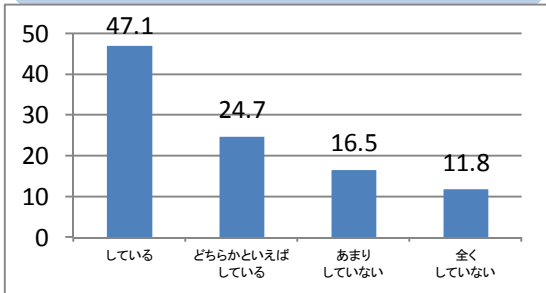
テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。



5 コミュニケーションを大切にしましょう。

お子さんとたくさん話しをし、絆を育みましょう。傾いてもらえるだけでも安心感をもつことができます。

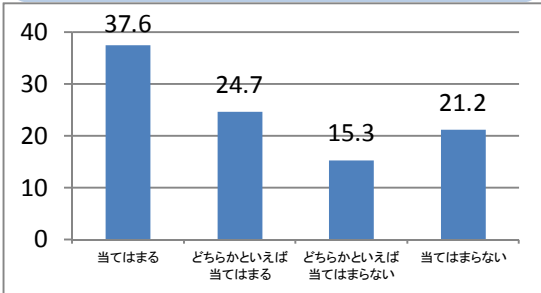
家の人と学校での出来事について話をしますか。



6 地域や社会の出来事に関心をもちましょう。

行事に参加することを勧めたり、家族で足を運んだりして、地域行事にも積極的に参加しましょう。

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。





おもいやりの塔

